

■ 教育目的

カナダ・アルバータ大学薬学部、イギリス・ハートフォードシャー大学薬学部、タイ・チュラーロンコーン大学薬学部、タイ・マヒドン大学薬学部など他国の医療制度、薬学教育や薬剤師の役割（薬局業務、病院業務）などについて、研修で習得したことをもとに、日本との違いを比較検討する。【卒業認定・学位授与：YD-⑤、YD-⑥】

■ 学習到達目標

1. 海外の薬学生に日本の医療制度、薬剤師の役割を説明できる。
2. 海外での実習経験を生かして、日本の薬剤師のあるべき姿を議論する。
3. 将来のキャリア選択に、海外留学経験を生かす。

■ 準備学習（予習・復習）

予習：英語検定など継続的に英語学習を続ける。

復習：提携大学の教員、留学生との議論を振り返り、自分なりの意見を整理しておく。

■ 授業内容

- カナダ、イギリス、タイなどの薬学教育、薬剤師の役割（薬局業務、病院業務）などについてテーマ別に日本のそれらと比較検討する。
- 提携大学の留学生らに、日本の薬学教育、医療における薬剤師の業務などについて説明する。
- 提携大学の教員による講義・ワークショップ等に参加し、海外における薬学最新情報の習得に努める。
- 国際保健分野で活躍する医療関係者の体験談を聞き、薬剤師のキャリア選択の一つとして考える。

■ 授業分担者

赤沢 学（責任者）、石橋 賢一、庄野 あい子、樋口 和宏、越前 宏俊（アドバイザー）、学外講師

■ 課題（レポート、試験等）のフィードバック及び成績評価方法

事前演習、ワークショップやセミナーなどの出席を加味して、総合的に判断し評価する。

■ 教科書

必要に応じてプリントを配布する。

■ 参考書

特に指定なし。